



特殊な事態下における通勤管理

本日も挙国一致の防疫対策が進み、春節明けの復業の準備が整って参りました。

復業問答は会員企業の皆さまが最も関心を抱いている復業後の出勤・退勤の問題について触れて参ります。

一、フレックスタイム制度の採用（会員企業・馬総監の提案）

公共交通機関利用中の感染を避けるために、通勤や退勤ラッシュの時間をずらすのは合理的な選択だと言えるでしょう。特定の期間内（例えば2月から3月までの間）はフレックスタイム制を導入し、勤務時間をAM8:00—PM7:00のうちの8時間と定め、OAによる勤怠管理システムで管理を行うのです。

二、通勤や退勤中の公共交通機関内での感染を避けるには？

通勤距離が近ければ、徒歩や自転車、電動バイクなどを利用し、極力公共交通機関の利用を減らすようにすべきです。

また従業員へは、公共交通機関を利用するときは常にマスクをすること、手が取っ手やドアに触れたときは顔に触らないこと、携帯をいじらないこと、会社に着いたらすぐに手を洗い、アルコールで携帯電話を消毒することを指導すべきでしょう。

（もし可能ならば、オフィス内に消毒液を設置し、消毒の習慣をつけさせるのも手です）

三、発熱した従業員をオフィスへ立ち入れないようにするには？

まず会社側で従業員に体温や咳・だるさの有無など健康状態を今日から毎日定時的に申告させる制度を確立することです。営業再開後も従業員へ申告を続けさせ、一旦発熱したら一律出勤停止とします。また、会社側で体温計を準備し、体温測定を担当者に体温をチェックしてもらおう手もあります。もちろん従業員自身が測定しても構いません。

四、出勤・退勤に使用される送迎車を安心して従業員へ利用してもらうにはどうすればよいでしょうか？

車を出す前には必ず消毒し、消毒記録を車内に張り出して、従業員に確認してもらいます。また、車内空間は狭いので、運行中は窓を開け通気を良くするとともに、搭乗者へマスクをすること、車内では至近距離でコミュニケーションを取らないことなどを促し、従業員の防疫意識を高めることが重要です。

五、従業員が使用したマスクはどのように処理すれば良いですか？

マスクは今や職場の必需品となっています。社員が社内でマスクを取り替えたい時、使用済みのマスクはどのように処理すればよいでしょうか？これについては、社内に指定のマスク専用ごみ箱を用意することをお勧めします（ごみ箱の周りは定時的にしっかり消毒しておかなければなりません）。こうすることで、マスクをみだりに捨てる習慣がなくなり、マスクがその他のごみに紛れ込むのを防ぐことができます。

以上、ご参考いただければ幸いです。もし防疫についての提起があれば、日企倶楽部智櫻会会員企業の皆さまが疫情に打ち勝てるよう、ぜひともその智慧を御裾分けください。

特殊时期連絡先：

fengchh@ciicsh.com

【注意】

この資料は、中智「智櫻会」会員企業の責任者のみ送信しています。一部の内容や案件は、内部情報に関わるので、秘密保持の為、当「智櫻会」事務局の許可なく外部への転載・開示はご遠慮ください

中智「智櫻会」
2020年2月2日